

## ハコモノ しゃべくり会議 (おもな意見)

### <ハコモノはどうするのか>

- ・まちのシンボリックなものは必要と思う。今ある施設は見直しをかけて、計画的に残すものを決めるべき。
- ・公共施設を作ったはいいが、利用されていない物がほとんど。まちづくりを計画するためにも、行政だけでなく市民で考えていかなければならない。
- ・人口が減れば財政難になる。公共施設一律に利用があるかないかで施設の削減は決められない。施設の利便性を考え再配置が必要。
- ・このままハコモノを残すのは、財源が少なくなるため、統合は不可欠。
- ・公共施設を耐震化しても余計に費用がかかる。これ以上新しいものを作る必要はない。
- ・総論賛成、各論反対が予想される。大田市の独自基準を設けることは必要。
- ・施設を残すことは不可能、維持管理が難しいため、統合なども含めて施設は減らすべきである。公共施設を維持していくなら、施設を減らして売りに出すとか先の取り組みを考えていくべき。
- ・合併により重複された施設もあり整理が必要。災害時における避難所は残すべき。
- ・公共施設の利用状況やコスト、維持費の検討も大事。すべてを残すことはできない。
- ・耐震化していない施設についての対応もすべき。
- ・公共施設の利用頻度を考え、地域に必要なものは残していかなければならない。
- ・大田市も市民に利用してもらい儲ける施設は必要。

### <どんなハコモノが必要か>

- ・ハコはなくても、その機能、サービスを維持することが大切。
- ・市民が安心して暮らせるような場所が必要であり、避難所の老朽化も検討すべき。
- ・廃校の跡地利用について、企業誘致も考えていく必要あり。
- ・人口に見合った公共施設になることが望ましい。
- ・できるだけ民間の活力を使う。新しい施設はいらない。

### <画期的な使い方>

- ・公共施設を作るはいいが、維持管理ができていない。複合サービスを行い、コンパクトシティを作り上げることが大事。そこへ行くための交通手段も検討すべき。
- ・1つの施設に行けば用が足りるようになればいい。同じ機能のサービスが1つになればコストもかからないのでは。
- ・民間活力にシフトして、行政と民間でバランスを取ってやっていくことも必要